

第16回全国どぶろく研究大会 in 北秋田 実施要領

1. 趣 旨

構造改革特別区域における「特定農業者による濁酒製造事業」が始まり、全国各地で「どぶろく特区」が次々と誕生し、都市と農山漁村の交流拡大や農山漁村地域における起業等へつながるなど、特区地域内で一定の成果をあげています。

こうした流れのなかで、全国の特定酒類の製造者及び関係者等が一堂に会し、各特区認定地区の特定酒類製造の状況、活用方法、地域への波及効果等について意見・情報交換を行い相互の理解を深め、都市と農山漁村交流を活発にすると共に、地域の活性化を図るため開催するものです。

2. 主 催

第16回全国どぶろく研究大会 in 北秋田 実行委員会

3. 後 援

北秋田市、北秋田市商工会、秋田たかのす農業協同組合、北秋田市観光物産協会、マタギの里観光開発株式会社、鷹巣観光物産開発株式会社

4. 概 要

(1) 日 時

令和5年1月13日（金） 15：30～20：00

(2) 会 場

【北秋田市文化会館】 秋田県北秋田市材木町2番3号
(開会、基調講演、事例発表)

【北秋田市民ふれあいプラザコムコム】 秋田県北秋田市花園町10番5号
(どぶろくコンテスト審査会、試飲会・交流会、閉会)

(3) 大会日程

－ 1月13日(金) －

| 時間 | 内容 | 会場 |
|-------|---|-------------------------|
| 15:30 | 開会式(主催者挨拶、地元首長挨拶、来賓祝辞、紹介) | (北秋田市文化会館) |
| 15:50 | 基調講演【どぶろくが動かす、マチ、ヒト。】 日本酒と食のジャーナリスト/地域食ブランドアドバイザー 山本 洋子 氏 | |
| 16:40 | 休憩(10分) | |
| 16:50 | パネルディスカッション 【地産品を活用した観光振興・地域おこし】 公益財団法人日本交通公社 主席研究員 吉澤 清良 氏 一般社団法人地方創生パートナーズネットワーク 代表理事 村松 知木 氏 北秋田市観光物産協会 会長 檜森 正太 氏 北秋田市地域おこし協力隊 阿部 夏代 氏 | |
| 17:40 | 休憩・移動(20分) | ↓(移動) |
| 18:00 | どぶろく試飲会・交流会【会費制:参加者6,000円】 ※コンテスト出品のどぶろく試飲、地元郷土料理の提供 | (北秋田市民ふれあい プラザ コムコム) |
| 18:30 | 全国どぶろくコンテスト審査結果発表、表彰、講評 | |
| 20:00 | 閉会 | |

※全国幹事会:同日14:00~15:00

会場 北秋田市民ふれあいプラザコムコム

※どぶろくコンテスト審査:同日10:00~15:00

会場 北秋田市民ふれあいプラザコムコム

5. 参集範囲

全国特区認定地区濁酒製造業者及び関係者・一般客

6. 募集方法及び内容

(1) 募集人数

①講演・事例発表 関係者・一般 約200名

②試飲会・交流会 関係者・一般 約200名

※応募多数の場合、抽選とさせていただきますのであらかじめご了承ください。

(2) 募集期間

令和4年12月22日(木)まで

(3) 申込受付方法

北秋田市HPの特設ページ「第16回全国どぶろく研究大会 in 北秋田」より、参加申込書にてお申込み下さい。

(4) 参加費

| 項目 | 内容 | 料金 |
|---------|-------------|--------|
| 研究大会 | 基調講演、事例発表 | 無料 |
| 試飲会・交流会 | どぶろく試飲会・交流会 | 6,000円 |

7. オプショナルツアーについて

北秋田市での全国どぶろく研究大会開催にあたり、下記のとおりオプショナルツアーの開催を予定しております。ツアー参加を希望する方は、参加申込書にてお申し込み下さい。

なお、参加申し込み状況により、内容が変更となる場合がございます。詳細につきましては後日ご連絡となりますので、ご了承くださいますようお願い申し上げます。

① 阿仁マタギの文化・どぶろく工房見学ツアー

日 時 令和5年1月13日(金) 10:30~15:00

概 要 全国どぶろく研究大会当日、北秋田市のマタギ文化に触れるモニターツアー。

「打当温泉マタギの湯」内のマタギ資料館にて現役のマタギの方の語りを聞き、同施設内で製造・販売されている濁酒「マタギの夢」の工房を見学するなど、阿仁マタギの文化に触れるツアーとなります。ツアー後、研究大会会場まで送迎となります。

料 金 無料(モニターツアーとなりますので、アンケートにご協力願います。)

② 世界に誇る縄文遺跡と世界一の太鼓に触れるツアー

日 時 令和5年1月14日(土) 09:00~14:00

概 要 全国どぶろく研究大会翌日、世界に誇る伊勢堂岱遺跡縄文館での見学と、地元綴子(つづれこ)地区に伝わる世界一の太鼓見学・体験ツアー。

伊勢堂岱遺跡は「北海道・北東北の縄文遺跡群」として世界文化遺産に登録された遺跡の一つであり、約4,000年前の環状列石が4つ存在する稀有な遺跡です。遺跡に併設する縄文館にて、出土した板状土偶の見学や遺跡の歴史をご案内します。太鼓の館は、地元綴子(つづれこ)地区に伝わる牛の一枚皮を使った世界一の和太鼓や、世界40か国の太鼓(140種)の展示をしている「太鼓の博物館」です。ギネスブック認定の世界一の太鼓の歴史をご案内いたします。

料 金 2,000円(見学料金・昼食代込み)

最小催行人数 10名

※オプションツアーについては、マイクロバスによる移動となります。研究大会会場、大館能代空港およびJR鷹ノ巣駅までの送迎も含まれます。

※ツアー行程は変更の可能性がございます。

8. 「試飲会・交流会」へのどぶろくの提供について

- (1) 試飲会・交流会に提供していただくどぶろくは、コンテスト出品と合わせて1銘柄あたり720ml×3本の提供をお願いします。
- (2) 提供いただく場合には、他との混同等を避けるため、下記「出品票」ラベルを作成し、梱包箱等の外側に貼付するとともに、各瓶等の容器にも剥がれ落ちないように貼付して下さい。(厳守)
- (3) 当地の開催時期の平均気温は、0℃前後（室内暖房なしで7℃前後）となります。保管には万全を期しますが、保管方法の個別対応はできかねますので予めご了承ください。
- (4) 輸送に際し、返却の必要な梱包材等を用いた場合は、返却対応できませんのでご注意ください。
- (5) 各出品分門への出品点数は1点とします。
仕込み方法（銘柄）が同じどぶろくを両出品区分に同時に出品しないこと。
- (6) 事前に出品申込（期限：令和4年12月22日まで）をお願いいたします。後日、事務局より送付される宅配便の送り状（着払い用）を使用し、出品区分ごとに発送してください。

(出品票)

| 第16回全国どぶろく研究大会 出品票 | | | |
|--------------------|-------------|------|--|
| 部 門 ※1 | 淡 麗 ・ 濃 芳 醇 | | |
| 都道府県名 | | 市町村名 | |
| 事業者名 | | | |
| 銘柄名 | | | |
| 特別な原料 ※2 | | | |

※1 部門は製造事業者で判断して選択すること

※2 特別な原料を用いて製造したどぶろくについては、その原料の内訳を記載すること。（特別な原料の例：黒米、赤米、古代米、紅麹など）

【送付期日】令和5年1月10日（火）～11日（水）着 ※期日厳守をお願いします。

【送付先】以下の送付先

9. どぶろくコンテストについて

- (1) 別添「第16回全国どぶろくコンテスト実施要項」による。
- (2) 審査は非公開
- (3) 審査員（予定）
 - ① 仙台国税局
 - ② 秋田県総合食品研究センター
 - ③ 次回開催市関係者
 - ④ その他

10. 参加申込書送付先

〒010-0001 秋田県秋田市中通七丁目1番2-3号 秋田ノーザンゲートスクエア 3階
株式会社ジェイアール東日本企画秋田支社 TEL 018-831-0476 FAX 018-831-0498
担当：猪股 俊憲 E-mail：inomata.toshinori@jeki.co.jp

11. コンテスト出品どぶろく送付先

〒018-3312 秋田県北秋田市花園町15番1号
全国どぶろく研究大会 in 北秋田実行委員会事務局
(北秋田市産業部商工観光課観光振興係)
TEL 0186-62-5370 FAX 0186-62-5551 E-mail：kankou@city.kitaakita.akita.jp

12. 問い合わせ先

〒010-0001 秋田県秋田市中通七丁目1番2-3号 秋田ノーザンゲートスクエア 3階
株式会社ジェイアール東日本企画秋田支社 TEL 018-831-0476 FAX 018-831-0498
担当：猪股 俊憲 E-mail：inomata.toshinori@jeki.co.jp

〒018-3312 秋田県北秋田市花園町15番1号
全国どぶろく研究大会 in 北秋田実行委員会事務局
(北秋田市産業部商工観光課観光振興係)
TEL 0186-62-5370 FAX 0186-62-5551 E-mail：kankou@city.kitaakita.akita.jp